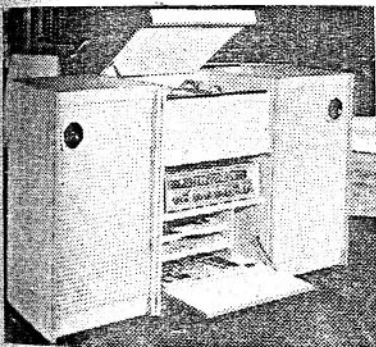


# 国内新製品紹介

## 山水のコンパチブル・ステレオ “APS-10”

本機は音に関するあらゆる調整回路を備えた万能型ステレオ装置である。つまりFM放送をはじめ、短波放送、中波放送、ステレオ放送の受信と、ステレオ、モノのレコード、テープの再生など7種類に使えるというもので、使用真空管は12球+4石である。終段のパワー・アンプは6GWS×2で出力は3.5W×2、周波数特性は40c/s~40kcである。出力インピーダンスは8、16、32Ωで、入力端子はXtal、AUX。音質の調整回路としてはトーン・コントロール(CR型)、ラウドネス・コントロール、ハイパス・フィルターなどがあり、FMのモノプレックス用アダプター端子もついているこのアンプ部の重量は11kgである。

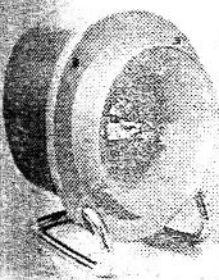
レコード・プレーヤー部はリム・ドライブ型の4スピード(16<sup>2</sup>/<sub>3</sub>、33<sup>1</sup>/<sub>3</sub>、45、78rpm)のターンテーブルは直径25cm(1kg)。セラミック・ターンオーバー式のステレオ・ピックアップで、出力はST-LPが0.3V、SPが2.5Vとなっている。再生周波数50c/s~12,000c/s、針圧は7grである。スピーカー部は片方に20cmウーファーとホーン・トゥイーターが入っていて、許容入力10W、入力インピーダンスは8Ω、クロスオーバーは3,500c/s、再生周波数は50~15,000c/sである。全体の外形寸法は横1,280×高さ750×奥行370mmで、重量は70kgである。小売正価は¥73,900



(東京都杉並区和泉町)

山水電気 K. K.

## ユールのホーン・トゥイーター “H-7”



これはプロフェッショナルとして使える小型のホーン・トゥイーターである。同社の誇るエッジ・ワイズ・ボイスコイルを使って能率が120%以上も向上し、強力な磁気回路

と超硬軽合金の振動板の採用により高域の特性がいちじるしく良くなっている。ところでエッジ・ワイズというのは、従来のボイス・コイルの巻きかたでは巻線のすき間に磁束ロスがなかったのを、今度は特殊な巻線方法で互いに密着するようにしたもので、無駄もなく磁束密度が高くなるので、能率、高域特性、ダンピングなどが良くなる。再生周波数特性は3,000~20,000c/s、クロス・オーバーは3,500c/s、出力音圧レベルは108dB、入力は20W。VCインピーダンスは16Ω、磁束密度は17,000ガウス、総磁束数は30,000マックスエル、重量は640grである。小売正価は¥4,350

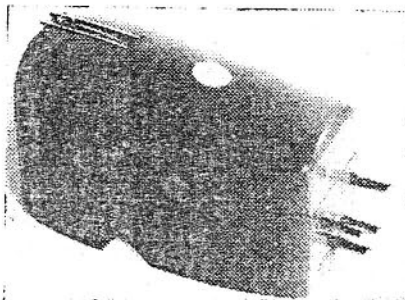
(東京都北区堀船町 3-25)

福洋音響 K. K.

## ニートの新製品2種

### ●ステレオ・ムービング・コイル型 カートリッジ “VS-1000D”

ムービング・コイル型カートリッジの普及しなかった理由の一つは、針交換が簡単にできないことであった。それを、このVS-1000Dではピン1本で誰でもははずすことができ、挿入も極めて簡単ようにした。また針交換による特性の変化もない。アルミ・リボン線の採用により、優れた過渡特性と、音の分離が10~20,000c/sの間平坦に得られる。強力な磁気回路とコイル巻線の実効長で、一般のバリレラやムービング・マグネット型と同程度の大きな出力電圧が得られるので、入力トランスやヘッドアンプは必要なく、モーター、トランス類からの誘導ハム・レベルも僅小である。また薄板ジュラルミン製の振動伝達子によって、メカニカル・インピーダンス特性を全音域においてスチフネス制御とし、針先を常に音溝に密着させ10,000c/s以上のクロス・トークを30dB以上に保っているので全くステレオ向きといえる。モノラルのとき左右のコイルを直列接続にするとピンチ効果による歪が減少する。なお、このVS-1000Dはどんな種類のアームにも装着することができる。正価は¥9,400。



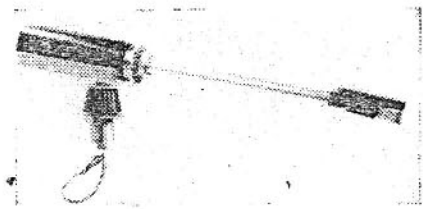
### ●35cmダイナミック・バランス型PU “VA-158D”

ステレオ用ムービング・コイル型のピックアップで、同社で完評のあるムービング・コイル型カートリッジVS-800D型で、組み合わせるアームは完全ダイナミック・バランス型で針圧3gr以下で使うことができる。このアームは適

度な剛性とプラグイン部分、パイプ接合部などにガタがなく、共振やハウリングの心配はない。その他カートリッジとしての特長は前記VS-1000D型と大体同じである。定価は¥15,800。

(東京都千代田区神田旗籠町 1の4)

ニート音響 K. K.



## ミヤマの押ボタン SW

ランプ付の押ボタンスイッチである。従来の押ボタン・スイッチではONのときに電流が流れているか、いないか分からないときがあった。そこで押ボタンの頭部にネオン球を取付けONの表示ができるようになっている。

(東京都大田区上池上町 56)

Tel: 782-5156~9)

ミヤマ電器 K. K.

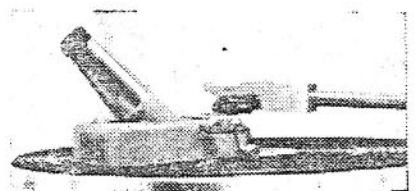
## マイクロ精機の針先測定用顕微鏡

マイスターとよばれる本機はマイクロ・スタイラス・スコープ(針先顕微鏡)で、ピックアップアームより針先をとりはずすことなく、針先の状態を視認測定できるものである。前後、上下の微調整も簡単にでき、倍率は180倍である。外形寸法は長さ140×幅70×高さ85(mm)で、重量は130grという小型・軽量で、持ち運びも容易である。定価は¥1,950。

(東京都杉並区高円寺 7-925)

Tel: 312-3350)

マイクロ精機 K. K.



## 東芝・富士フィルムの サウンド・テープ

東芝と富士フィルムが協同して生産するようになった、放送局納めと同一の規格(JIS Y級)をもつもので、原料から完成品まで一貫生産を



している。ベース材は機械的特性のすぐれたトリアセテートを使用しているため、伸びたり切れたりすることもない。また完全帯電防止処理を施してあるので、静電気の帯電もなく、ゴミがついたり放電によるノイズを発生することはない。電気的特性を輸入標準テープと比較したものは下表に示すとおりである。

項目	東芝富士 フィルム サウンド テープ	輸入標準 テープ
動作バイアス電流 (A)	0.170	0.185
動作録音レベル (dB)	-10.8	-11.0
感度 (dB)	-59.3	-61.0
ひずみ率 (%)	0.87	1.10
周波数レスポンス (dB)	-19.0	-19.7
出力変動 (VU)	± 0.2	± 0.25
感度変化 (VU)	± 0.1	± 0.15
全長における感度ムラ (dB)	± 0.2	± 0.25
信号対雑音比 (dB)	全幅	54.6
	半幅	52.2
消去効果 (dB)	71.0	72.0
転写効果 (dB)	56.1	52.0

S/N も高く、S/P (信号対転写比) も高いため、ほとんどノイズは出ない。特に3号テープには薄形ベースを使用しているため、50% も長い時間 (9.5cm/秒で往復30分) 録音することができる。5号、7号のテープの厚みが0.050mm であるのに対し、3号は0.037mm である。定価は下表のとおり。

3号テープ	¥ 300	3号リール	¥ 65
5号 "	¥ 550	5号 "	¥ 100
7号 "	¥ 1,000	7号 "	¥ 180

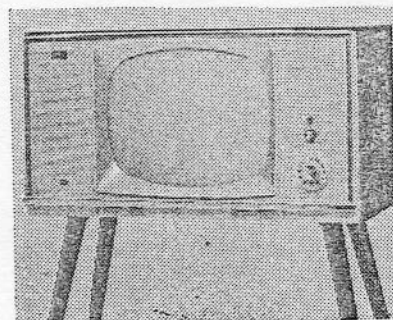


(東京都中央区西銀座)

東芝商事 K. K.

### 日立の14型(110°)薄型テレビ “スザンナ” FX-730

14型110° 偏向のブラウン管14ASP4 を使い、2スピーカー (25×12cm 楕円型と、6.5cm 丸型) を使った受信機で、使用真空管は、B管ともども16球ほかにシリコン整流器 HR25×2、という内容である。音声出力は約2W、端子はプレーヤー用1、テープレコーダー用1、イヤホン用2である。消費電力は約135W (オーディオだけ場合は75W) 外形寸法は幅635

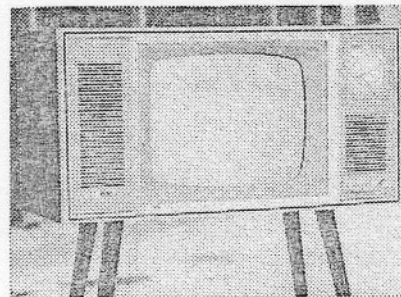


×高さ370 (脚つき770)×奥行360mm で、重量は約21kg である。現金正価は ¥ 58,500 (東京都千代田区丸の内 新丸ビル内)

日立製作所 K. K.

### QQQ 16型(114°) 受信機キット “16Q-8AD”

使用ブラウン管は400CB4 (16型114° 偏向) で、使用真空管はB管を除き12球+8石となっている。アンテナ入力300Ω、最大感度は50μV/20V p-p、映像IF帯域幅は3Mc (-3dB)、音声検波はゲルマニウムによるレシオ検波方式、AGCは特殊平均値型、水平同期は鋸歯状波AFC方式、高圧出力は12kV、電源はセミ・トランス方式である。数々の組立て指導書がついており短時間で組立てることができる。



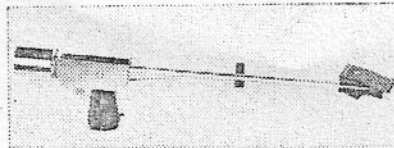
(東京都大田区大森2の181)

Tel: 761-0039, 4139)

中央無線 K. K.

### 三伸のトーン・アーム

三伸ラボラトリーが出したトーン・アームSUPEX614はプロフェッショナル用として設計されたものである。35cm 型のステレオ、モノラル両用である。プラグイン・カートリッジはJIS EIAの標準寸法のカートリッジが使用でき、引出ししやすいプラグつきシールド線が付属し、針圧1gr以下でも動作する。



(東京都世田谷区深沢町2-36)

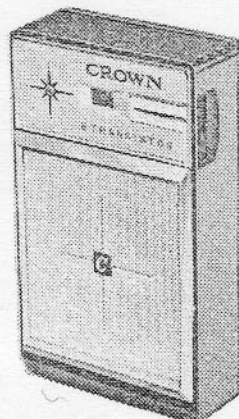
Tel: 701-7027)

三伸ラボラトリー K. K.

### クラウンの新製品2種

#### ●6石ポケット・ラジオ“TR-690”

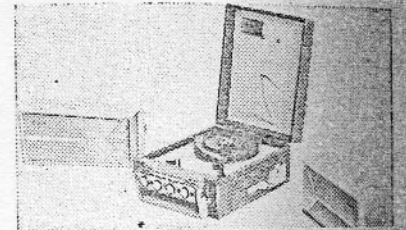
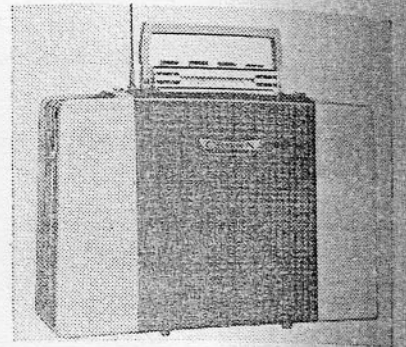
6石で受信周波数535~1605kcのポケット・ラジオで、操作はワンサイド・コントロールである。最大出力は180mW (歪率10%以下)、スピーカーは5.7cm (2 1/4") 丸型、電池は006p (9V) を使用している。外形寸法は105×61×25mm で、



重量は電池ともども180gr。現金正価は ¥ 4,300

#### ●12石ポータブル・“STP-45”

ステレオ電器と2バンド・ラジオとを組合わせたものである。携帯に便利なトランク型で、全面レザー張りのキャビネットで、2つのスピーカー・ボックスまで左右に取付けられている受信周波数帯は535~1605kcと4~12Mcである。プレーヤー部は33 1/2、45、78rpmの3スピードで、直流小型モーター使用。ピックアップは温度補償をほどこしたセラミック型である。スピーカーは10.2×15.2 (4"×6") cmの楕円型が2個入っている。無歪出力は600mW×2、最大が800mW×2。電源は単一×6 (9V) を使っている。外形寸法は505×285×150mm で、重量は電池ともども8.3kg である。現金正価は ¥ 28,500



(東京都台東区東黒門町3)

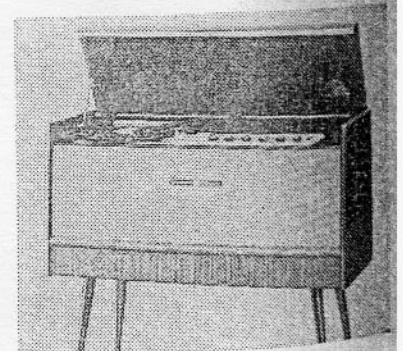
Tel: 866-6271)

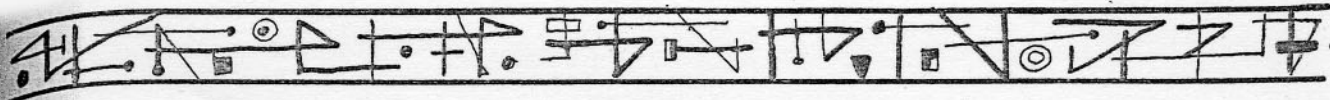
クラウン K. K.

### ナショナルの新製品5種

#### ●スーパーフォニック・ステレオ “HE-2000”

チューナー・アンプ部、プレーヤー部、スピーカー・キャビを組み合わせたアンサンブルである。そしてアンプ部にはエキスパンダー・リバーブ・ユニット (残響附加装置) もついている。チューナーはMW: 535~1605kc, SW: 3.8~12Mc, FM: 76~90Mc である。使用真空管は12EW8, 12BE6, 6AV6×2, 12AX7, 33A5×2で、トランジスターは2SB173, ダイオード



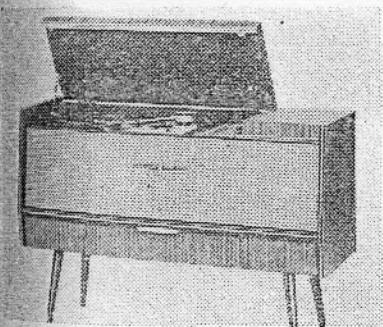


0A79, シリコン・ダイオード SD-1 となっている。出力は最大 2.5W+2.5W, 無歪 2W+2W, 周波数特性は 60~15000c/s, S/N 比 -55dB となっている。残響の変化範囲は 0~2.5 秒である。スピーカーは 18cm P. D. S. "7P-W1" が 2本インピーダンスは 8Ω である。プレーヤーはハイ・シンクロ型のモーターを備え、リム・ドライブの 4 スピードである。ターンテーブルは 17cm ゴム・カバー付、ピックアップはセラミック型 (ターンオーバー、ステレオ用)、針圧は 6gr である。全体の外形寸法は幅 932×高さ 790 (脚とも)×奥行 342 (mm) で、重量は 18.9kg である。現金正価は ¥39,800

・スーパーフォニック“HE-3000”

前記 HE-2000 との一連製品で、やはりエキスペンダーやリバーブ・ユニットがついている。受信周波数は ch. 1 が MW: 535~1605kc, SW: 3.8~12Mc, FM: 76~90Mc の 3 バンドで、ch. 2 が 535~1605kc で BC-BC のステレオも楽しむことができる。使用の真空管、トランジスターは 17E4, 12BE6×2, 12BA6×2, 12AT7×2, 6AQ5, 15MP19×4 (PP×2), 12ZE8, 0A79×4, SD-1×2 である。出力は最大 5W+5W, 無歪 4W+4W, 周波数特性は 60~15000 c/s, S/N 比は -55dB, クロストークは -35dB, 残響変化範囲は 0~2.5 秒となっている。スピーカーは 20cm 型 2 個、インピーダンスは 800Ω である。

プレーヤー・ユニットはハイシンクロ型のモーターで 4 スピード、20cm ターンテーブル (ゴム・シート付)、ピックアップはセラミック型プラグイン・システム、針圧 4gr となっている。外形寸法は全体で幅 1120×高さ 781 (脚とも)×奥行 404mm で、重量は 28.2kg である。また本機にはステレオ・リモコン装置を追加することができる。現金正価は ¥59,800

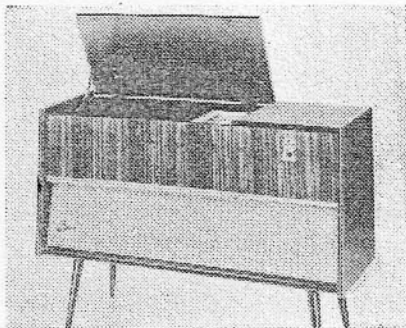


・スーパーフォニック“HE-5000”

この一連製品のうちもっともデラックスなものである。受信周波数は ch. 1 が MW: 535~1605kc, SW: 3.8~12Mc, FM: 76~90Mc, ch. 2 が MW: 535~1605kc である。使用真空管およびダイオードは、6AQ5, 6BE6×2, 6BA6×3, 12AX7×4, 6AQ5, 15MP19×4 (PP×2), 6CA4, GX4, 0A79×4 となっている。出力は最大 7W+7W, 無歪 5W+5W, 周波数特性は 50~15000c/s, S/N 比は -55dB 以上。残響変化範囲は 0~2.5 秒、スピーカーはモーション・フィードバック型の 20cm ウーファー“8P-MF1”2本に、6.5cm ツイーター 2本を使っている。VCインピーダンスは 800Ω。プレーヤー部はインダクション・モーターを備え、4 スピード、リム・ドライブとなっている。ターンテーブルは 25cm。ピックアップは

セラミック型プラグイン方式のカートリッジにジャイロ・バランス・アームのものである。針圧は 4gr。全体の消費電力は 126W

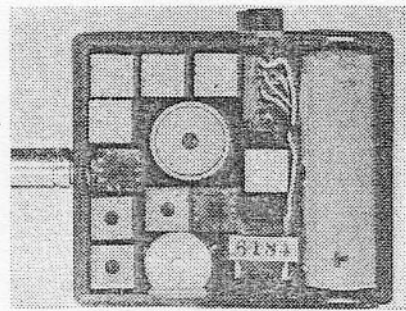
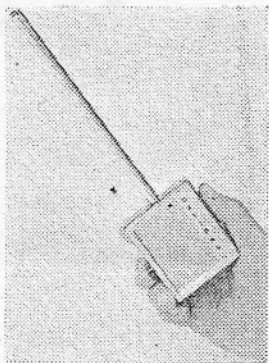
外形寸法は幅 1156×高さ 855 (脚とも)×奥行 412mm で、重量は 62kg である。現金正価は ¥98,000



(松下電器・ステレオ事業部)

・マイクロ・トランシーバー

本機はマイクロモジュールを使ったトランシーバーで、小型化に重点をおいて設計されたもので、キャビネットは幅 57×高さ 67, 厚み 28mm で、重量はわずか 250gr というから、従来のものに比べて容積は約 1/4, 重量は約 1/3 に

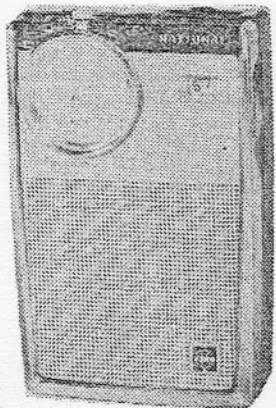


なっている。しかも性能はトランジスター 9 石、ダイオード 1 石、水晶発振子 2 個、4cm スピーカー、OTL 方式をとったもので、従来のものとほとんど同じである。送信電力は 80mW, 受信出力は 150mW, また電源は小型化のために、特に新しく開発した 007 積層乾電池 (10.5V) を使用している。発売時期や価格は未定である

・時計つきラジオ  
パナソニック“T-98”

自ざましとしても使える小型の時計を組込んだ、ポケット・ラジオである。使用トランジスターは 2SA102, 2SA101×2, 2SB173, 2SB175, 2SB172×2 の 7 石に、ダイオード 0A70, バリオード MA23 というもので、受信周波数帯は 540~1600kc, 輻射感度は 150μV/m 5mW, 出

力は無歪 (10%) で 150mW, 最大 250mW である。スピーカーは 5.5cm PM (VC インピーダンス 8Ω) が使われている。電源は 006P (9V) である。外形寸法は幅 67×高さ 103×奥行 28 (mm) で、重量は電池ともて 240gr。現金正価は ¥10,500



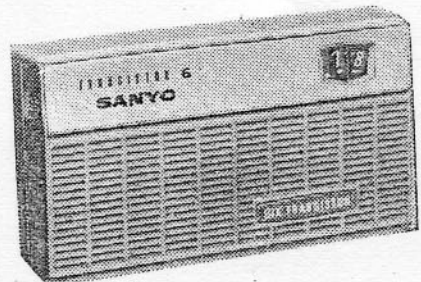
(大阪府北河内郡門真町)

松下電器産業・ラジオ事業部

三洋の新製品 3 種

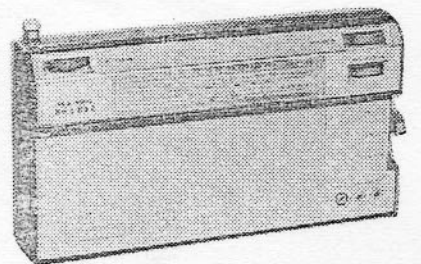
・6 石 1 バンド・ポータブル  
“6C-19”

ワンハンド・コントロールのできる 6 石ラジオで、受信周波数帯は 540~1600kc, 感度 630μV/m, 最大出力 210mW, 無歪出力 150mW である。電源は単三×3 (4.5V), スピーカーは 6.5cm 型である。外形寸法は 138×38×77 (mm) で、重量は 280gr (電池別) である。現金正価は ¥6,400



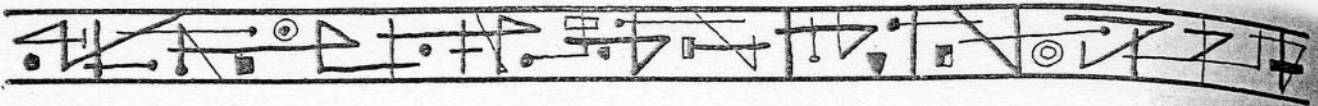
・8 石 3 バンド・ポータブル  
“8U-P30”

MW: 535~1605kc, SW<sub>1</sub>: 2.3~7.3Mc, SW<sub>2</sub>: 8.0~22.0Mc の 3 バンドである。電気的出力は無歪 250mW, 最大 350mW, スピーカーは 9cm 型 (VC インピーダンス 7Ω), 電源は単二×4 の 6V である。外形寸法は 236×124×31mm で、重量は 840gr。現金正価は ¥12,400

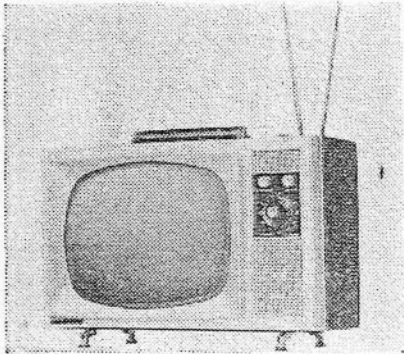


・14 型 (110°) ポータブル・  
テレビ “14-PS1”

110° 偏向の新型ブラウン管 363EB4 を使った薄型ポータブル受像機である。110°ブラウン管の特長を生かしてシャシーもスペースをとら



ない垂直シャシーを採用し、裏ボタンをはずせば4本のビスでシャシーが取り出せる設計になっていて、サービスもしやすい。ケースには軽くて強い新合成樹脂ポリプロピレンを使用している。また部屋から部屋へフィーダーを引きまわす必要もないように7段引伸ばしのロッド・アンテナがついている。使用電源はAC100Vで、消費電力は130W、音声出力は2W(歪率10%)、スピーカーは10×15cmの楕円型、アンテナ入力インピーダンスは300Ω平衡型、使用真空管はB管を含めて16球、それにダイオード3個である。外形寸法は幅580×高さ320×奥行250(mm)で、重量は15kgである。現金正価は¥56,000。

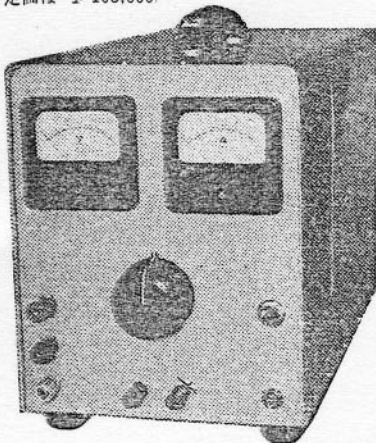


(大阪府守口市京阪本通り2-18)

三洋電機 K.K.

### 大倉電子の定電圧直流電源 “OA30-T35”

本機は0~30V(DC)を連続に可変でき、過負荷に対し定電流となる超安定度の定電圧直流電源である。主な規格は次のとおりである。電源は100V±10V(50,60cs)、出力電圧は0~30VDCで、電流は0~3Aとなっている。出力電圧変動は、電源電圧±10%および全負荷変動に対し10mV以下、リップルは1mV以下となっている。なお、本機には純電子の回路の定電流方式により過負荷保護が行われている。外形寸法は200×400×250mmである。定価は¥105,000。



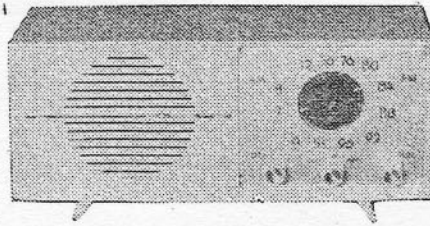
(東京都港区芝沙留5の2 マルマ・ビル内)

大倉電子産業 K.K.

### ユニオンのAM-FMラジオ・キット “FA-700”

チューナー部はAM-FMにとも配線。調整

ずみであるから、あとの組み立てはきわめて簡単である。FMバンドは76~96Mc、周波数波数は65.3~85.3Mc、IFは10.7Mc、ディエンファシス回路定数は50ms、感度は50mWV36dB以内、感度差±2dB以内である。S/N比は100μV入力で36dB以上、歪率は300mW出力時に5%以内である。AMバンドは535~1605kcで、感度は50mW50dB実用最大出力は1.5W以上、歪率5%以内(300mW出力時)となっている。なお、レコード・プレーヤーの接続、イヤホン、外部スピーカーの接続もできるようになっている。



(横浜市鶴見区下末吉町9-5)

TEL: 横浜 51-0574)

ユニオン K.K.

### グレースのステレオ・トーン・アーム “G-440”

これは従来ステレオ用アームとして定評のあったG-300シリーズの経験をかし、コスト・ダウンに成功したという標準価格のトーン・アームで、14”のダイナミック・バランス・タイプのものである。特殊軽合金のパイプを主部としたG-440は共振の問題もなく、1~2grの針圧でも動作は完璧である。プラグインの交換ヘッドにはJIS、EIAの標準とリッパ寸法をもつすべてのカートリッジに適合する。現金正価¥6,300



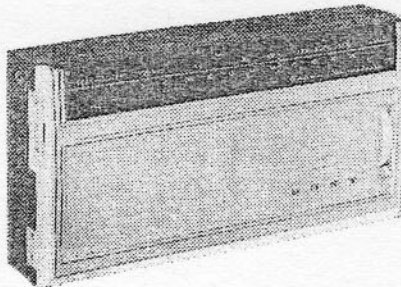
(東京都品川区大井元芝町870)

TEL: 761-7744)

品川無線 K.K.

### ソニーの8石ポータブル “TR-818”

RF増幅つきの8石ラジオである。受信周波数は535~1605kcで、無歪出力は260mW、最大450mWである。使用スピーカーは6×10cm楕円型(VCインピーダンス8Ω)、電源は単二×3の4.5V消費電流は無信号時に12mA、無歪最大時120mAである。8石も使



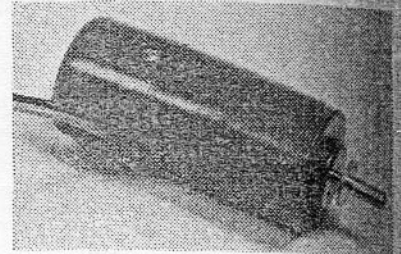
っているが、シングル・バンドで、高速度にし大きなスピーカーを鳴らしているところが特徴である。外形寸法は105×201×45(mm)で、重量は850grである。現金正価は¥9,800。

(東京都品川区北品川6-351)

ソニー K.K.

### アツデンのマイクロモーター “PM-35”

日本電機KKから出したマイクロ・モーターである。小型・軽量で雑音や振動が少なく、ガバナーの完全動作により回転ムラも少ない。出力リードが一枚所にまとまっているため取り付けも楽である。使用電圧はDC4.5~6V、定格電圧はDC6V、無負荷電流は30mA以下、定格トルク5g-cm、定格負荷電流は75mA±10、定格負荷回転数は2400rpm(3000rpmでも可)。効率45%以上、回転方向は時計方向、反時計方向の両方、重量は65grである。外形寸法は21φ×57mm

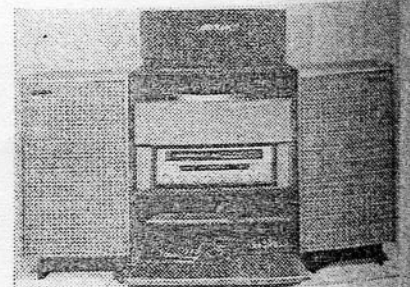


日本アツデン K.K.

### クライスラーのステレオ・キャビ・キット “STL-202”

本機はプレーヤー・ケース、アンプ入れ、物入れ“P-202”とスピーカー・システム“8H-202”型の左右2個から構成されている。独立した3点を一つに組込んで豪華なステレオ装置とすることができる。スピーカー・システムは20cm強力型ウーファ(20cm、コーラル8L-4)とホーン・トゥイーター(ナショナル・ホーン型HT-33)を使用した2ウェイで、VCインピーダンス16Ω、再生周波数帯域50~16000cs、最大許容入力10Wである。外形寸法は高さ720×横390×奥行450mmで、重量14kgである。

プレーヤー部には25cmおよび30cmターン・テーブルの高級プレーヤー・ユニットが取り付けられ、アンプ部は高さ178×横570×奥行400mm(ただし奥行はツマミおよび端子を含む寸法)のスペースがあり、10W×2から30W×2ぐらいまでのアンプを入れることができる。この部分のケースの寸法は16kgである。



(京都千代田区神田)

クライスラー電気 K.K.